

白井寿光「皮田賤視の核としての斃牛馬処理とこれを基軸とする肉・皮のケガレについて」

辻本正教「皮と肉のケガレ—その精神的考察」

『部落解放と大学教育』10号（1993年12月）

沖浦和光「ケガレ観念の思想的考察—古代の〈貴・賤〉観から中世の〈浄・穢〉観へ」

山内 昶「キリシタンの世紀における食文化衝突とタブー問題」

白井寿光「近世社会の食肉問題とケガレ」

辻本正教「肉とケガレ」

高田寛明「近代に於ける被差別部落の形成」

『部落解放ひろしま』18号（1994年1月）

割石忠典「広島県水平社創立前史—被差別部落をとりまく状況について」

広島・三次部落解放研究所「三次地方における水平社の運動」

『部落問題—調査と研究』103号（1993年4月）

岩間一雄「空白の四〇年（上）—常福寺の過去帳と笹岡村」（～下、105号、8月）

守屋 茂「臉に浮ぶ昭和の群像(3)—同和に挑んだ先賢の面影」（～4、104号、6月）

岡 映「荆冠旗／第九部「前進」第六章」（～第十章、107号、12月）

『部落問題—調査と研究』104号（1993年6月）

山口 圭「岡山県水平社70周年について」

『部落問題—調査と研究』106号（1993年10月）

豊田秀男「遺稿／治安維持法の思い出—それは現代に通ずる」

大森久雄「資料紹介／岡山県民主教育関係資料(8)」

『部落問題—調査と研究』108号（1994年2月）

末永弘之「今、部落史を問う、津山藩からの考察(1)」

守屋 茂「同和問題あれこれ(1)半世紀に亘る同和の泣き笑い」

岡あきら「荆冠旗／第十部「眺望」第一章」

『部落問題研究』123輯（1993年6月）

渡辺尚志「近世村落の身分階層構造—武蔵国多摩郡連光寺村を事例として」

内田九州男「大坂四か所非人について—一町抱え再論」

布川 弘「都市文化の拡大・浸透と水平運動の底流—都市部落改善事業を中心として」

竹永三男「近代日本の地域社会と水平運動の課題—創立期を中心に」

青木孝寿「水平運動における東日本の特質」

亀田順一「文学作品にみる部落問題—運動家の見た藤村の『破戒』」

川端俊英「『破戒』論の昨今—部落問題の視点から」

『部落問題研究』124輯（1993年7月）

峯岸賢太郎「近代日本の部落問題」

鈴木正幸「近代における部落差別」

小谷汪之「インドの近代における不可触民」

奥村弘・小路田泰直・小谷汪之・鈴木正幸・布川弘・峯岸賢太郎「シンポジウム／近代社会と身分問題—部落問題研究を深めるために」

小路田泰直「『市民社会』から『身分社会』へ—近代日本の成立」

吉井克信「研究情報／田中貴子「斎宮の変貌—中世文芸の世界から」、西口順子「成仏説と女性—「女犯傷」まで」

能川泰治「研究情報／畑中敏之「『部落史』を問う」」

『部落問題研究』125輯（1993年10月）

大熊哲雄「日光神領の猿引について」

川端俊英「書評／渡辺巳三郎著『近代文学と被差別部落』」

吉井克信「研究情報／塚田孝「近世賤民制と天皇—朝廷権威」」

能川泰治「研究情報／小坂橋二郎『ふるさととは貧民窟なりき』」

松浦 勉「研究情報／藤野豊『日本ファシズムと医療』」

『部落問題研究』126輯（1993年11月）

尾崎耕司「1992年の成果と課題・近現代編」

『部落問題研究』127輯（1994年2月）

飯田直樹「明治前期の大坂消防と消防頭取」

池田孝雄「平生業成—意志と情の人北条鐵心」

津田 潔「書評／川端俊英著『「破戒」の読み方』」

奥山峯夫「衡平運動研究会開く」

植山光朗・田中孝行・近藤孝敏・藤野豊ほか「第31回部落問題研究者全国集会参加記」

吉井克信「研究情報／神野清一「神賤試論」」

能川泰治「研究情報／玉野和志『近代日本の都市化と町内会の成立』」

松浦 勉「研究情報／戸田金一『昭和戦争期の国民学校』」

———「本誌季刊化と年間誌代改定のお知らせ」

<ミ>

『水と村の歴史』8号（1993年7月）

中村弘三「戦前の少年少女運動と解放教育—日本のピオネールを追いつづけて」

斎藤洋一「近世の猿まわしの生活の一端」

五島敏芳「史料紹介／五郎兵衛新田村行路病死人関係資料」

佐藤敬子「桑山村名主市之丞の日記(2)文化十三年八月～十二月」

<ル>

『Luciifer (ルシファー)』VOL. 7（1993年）

———「水平社創立時の行動も克明に—米田富先輩の資料、発掘される」

金井英樹「連載／全国水平社創立前後から解放教育まで（中の1）初期水平社の闘い」

<ロ>

『論集いぶき』13号（1994年3月）

川上龍馬「続被差別者と伝統芸能—芸能の源流を求めて」

- 『部落解放研究』93号(1993年8月)
 森田康夫「近世賤民身分の重層構造について—河内国を中心に」
 小西愛之助「和泉の国の非人番について」
 吉村智博「明治・大正期「同和教育」史研究の現段階—大阪の「同和教育」史のために」
 渡辺俊雄「戦後・大阪の部落解放運動史の総括」
 左右田昌幸「史料紹介／杉本新田教円寺宗判一件」
 渡辺俊雄「図書紹介／秋定嘉和『近代と被差別部落』」
 ———「部落史関係文献目録—1992年4月～1993年3月」
 北崎豊二「『大阪の部落史』研究ニュース／「解放令」前後の大阪の部落」
 朝治 武「『大阪の部落史』研究ニュース／大阪の水平運動史」
 中野陸夫「『大阪の部落史』研究ニュース／戦後大阪の同和教育史」
 『部落解放研究』94号(1993年10月)
 寺木伸明・渡辺俊雄・秋定嘉和「いま「部落史」を問い直す」
 荒井貢次郎「東日本の部落史研究の現状と課題」
 中尾健次「図書紹介／森杉夫さんと部落史研究—『近世徴租法と農民生活』の発刊に思う」
 寺木伸明「『大阪の部落史』研究ニュース／大阪における近世被差別部落成立期の諸問題」
 渡辺俊雄「『大阪の部落史』研究ニュース／戦後・大阪の部落解放運動史」
 小西愛之助「『大阪の部落史』研究ニュース／大坂の「非人」について」
 村越末男・井上薫「追悼／部落史研究のさきがけ・小林茂名誉理事亡くなる」
 『部落解放研究』95号(1993年12月)
 藤原有和「『大阪の部落史』研究ニュース／近世大阪における差別との闘い」
 福原宏幸「『大阪の部落史』研究ニュース／近代部落の労働・生活実態分析への覚え書き」
 『部落解放研究』96号(1994年2月)
 中尾健次「戦後の部落史研究における原田先生の位置と今日」
 高野真澄「書評／佐野通夫著『近代日本の教育と朝鮮』」
 吉村智博「書評／畑中敏之『「部落史」を問う』」
 中尾健次「『大阪の部落史』研究ニュース／近世かわた村の生活—宗門改帳の分析から」
 森田康夫「『大阪の部落史』研究ニュース／情念的存在としての歴代組」
 石元清英「『大阪の部落史』研究ニュース／「特措法」前大阪の部落」
 吉村智博「『大阪の部落史』研究ニュース／明治・大正期における大阪の「同和教育」史」
 布引敏雄「『大阪の部落史』研究ニュース／大阪の融和事業・融和運動」
 『部落解放研究くまもと』23号(1992年3月)
 崔 正 剛「掛け声「ボシタ」の中止に思う—韓国・朝鮮人、日本人が共に生きることを願う」
 『部落解放研究くまもと』24号(1992年10月)
 原口頼雄「水平社の歴史的意義について—全国水平社創立七十周年に想う」
 古賀正之「水平社宣言・ムラの人達・私—「ひまわり学級」の中で」

- 樋口輝幸「史料紹介／島本事件と熊本における水平社の創立—「九州日日新聞」の記事にみる」
 『部落解放史・ふくおか』70号(1993年6月)
 金山登郎・竹村健二郎「史料紹介／福岡県水平社青年同盟関係史料」
 [1] 北原泰作旧蔵史料、[2] 山本作馬史料関係史料(2)
 永井彰子「福岡盲僧・座頭関係年表」
 古文書学習会「近世民衆史の泉(15) (～18、73号、1994年3月)」
 『部落解放史・ふくおか』71号(1993年9月)
 金山登郎「史料紹介／山本作馬関係史料(3) (～4、72号、12月)」
 『部落解放史・ふくおか』72号(1993年12月)
 大久保義士「部落解放福岡県共闘会議年表の作成にあたって」
 『部落解放史・ふくおか』73号(1994年3月)
 田中松月・井元麟之「対談／若き日の闘い(再録)」
 ———「戦時下の水平運動—田中松月さんにお聞きする」
 ———「田中松月さんの足跡—田中修恵さんにお聞きする」
 金山登郎(解説)「史料紹介／田中松月県議会会議録」
 編集部「田中松月年譜(草稿)」
 大久保義士「資料紹介／部落解放福岡県共闘会議年表(2)」
 石瀧豊美「資料紹介／『福岡日日新聞』掲載の部落調査報告(大正二年)」
 『部落解放史「宮崎」』4号(1993年5月)
 稻森建蔵「「渡し守」と被差別部落について」
 比江島哲二「内藤藩延岡非人頭平五郎」
 柘山富弘「薩摩藩における民衆支配と部落差別」
 小玉暎雄「資料／高鍋藩の被差別部落の人達」
 ———「シリーズ・宮崎県の部落解放史」
 『部落解放闘争』9号(1993年5月)
 市川訓敏「徳川中期の身分編成と天皇制」
 『部落解放闘争』10号(1993年8月)
 釣舟良一「水平社青年同盟について」
 吉田徳夫「中世賤民論からみた部落起源説」
 鄭 承 博「リレーエッセイ／栗須七郎先生」
 『部落解放闘争』12号(1994年2月)
 編集部・西村豊行「図書の紹介／金静美『水平運動史研究—民族差別批判』」
 『部落解放と大学教育』9号(1993年5月)
 沖浦和光「日本列島における食肉の歴史(1)〈殺生禁断〉令をめぐる」
 永瀬康博「皮革の技術史的考察—革が甲冑に多用される契機を中心に」

- 『部落解放』356号(1993年4月)
金永大「インタビュー／衡平社創立七十周年をむかえて」
小山啓子「連載／聞き取り水平社運動(10)高橋くら子の意志を継いで一長野県水平社から」
- 『部落解放』357号(1993年5月)
中尾健次・臼井寿光・本田豊「座談会／江戸と上方の部落史」
松下志朗「九州部落史の万華鏡」
のびしょうじ「上方の近世部落」
吉田 勉「戦国期被差別民衆と近世賤民身分制—関東・九州・畿内を対照させつつ」
のびしょうじ「解説／よみがえる近世—絵地図にみる諸賤民」
(光) 「本の紹介／四国部落史研究協議会編『資料で語る四国の部落史—前近代編』」
- 『部落解放』359号(1993年6月)
田中松月「連載／聞き取り水平社運動(11)水平社創立大会に参加」
(健) 「本の紹介／長崎県部落史研究所編『長崎の部落史』」
(渡) 「本の紹介／藤野豊著『日本ファシズムと医療』」
- 『部落解放』360号(1993年7月)
辛基秀「衡平精神はいきていた—衡平社七十周年記念式典に参加して」
吉田冥莫「水平社運動を応援した寺—鳥取・興雲寺」
- 『部落解放』362号(1993年8月)
趙 博「変わったもの、変らないもの—在日韓国・朝鮮人問題の「昔」と「今」」
(渡) 「本の紹介／原田信男著『歴史のなかの米と肉』」
(島) 「本の紹介／釜ヶ崎資料センター編『釜ヶ崎 歴史と現在』」
- 『部落解放』363号(1993年9月)
永瀬康博「革甲と皮革技術」
(宮) 「本の紹介／多田恵美子著・大阪人権歴史資料館編『被差別部落の女と唄』」
(渡) 「本の紹介／朝鮮人強制連行真相調査団編『朝鮮人強制連行調査の記録—大阪編』」
- 『部落解放』364号(1993年10月)
沖浦和光「瀬戸内部落の歴史」
浜近仁史「『取徳』と『構』—丸亀藩の差別支配政策と民衆の差別意識」
沖浦和光「資料紹介／島嶼連盟と山本政夫」
松本めぐみ「ルポ／差別と被爆の歴史を受け継ぐ子どもたち—長崎・浦上の被差別部落」
- 『部落解放』365号(1993年11月)
坂井康人「千葉県の被差別部落と水平運動」
(小島)「本の紹介／飛鳥の部落史をつくる会編『飛鳥の歴史』」
藤本 篤「小林茂先生の逝去を悼む」
- 『部落解放』366号(1993年12月)
川元祥一「表現と平等観—筒井康隆氏の断筆宣言にふれて」
土方 鉄「道標／筒井康隆の断筆宣言」
清原美寿子「連載／聞き取り水平社運動(12)西光万吉と姉・美登利とわたしと」
(渡) 「本の紹介／塚本学『生類をめぐる政治』」

- (文) 「本の紹介／部落解放同盟鶴原支部編『解放への飛翔』」
- 『部落解放』367号(1994年1月)
上杉 聰「家制度とたたかう部落解放運動を」
土方 鉄「道標／筒井康隆の断筆宣言2」
中島 繁「マスコミの現場から／これでは「孤軍奮闘」も道理」
(渡) 「本の紹介／森謙二『墓と葬送の社会史』」
- 『部落解放』368号(1994年1月)
渡辺俊雄「部落解放理論入門—戦後の部落史の原点としての占領期」
村越末男「天皇制と部落差別」
西岡 智「行政闘争の歴史と教訓」
寺木伸明「被差別部落の歴史(近世)」
秋定嘉和「被差別部落の歴史(近代)」
- 『部落解放』369号(1994年2月)
中尾健次「関東の部落の歴史／植野村の人びとの生活と闘い—上州小頭三郎右衛門文書」
- 『部落解放』370号(1994年2月)
斎藤洋一「東日本部落史研究の成果と課題」
辛基秀「衡平社と水平社の交流」
- 『部落解放』371号(1994年3月)
〈グラビア〉「(仮称)水平社歴史館」建設推進委員会所蔵資料から
黒川みどり「婦人水平社のおゆみと全国水平社」
川向秀武「光り輝いた女たちの熱き思い—九州婦人水平社の光りと陰」
鈴木裕子「関東婦人水平社の女性たちとその解放思想」
宮前千雅子「大正期・大阪の被差別部落の女性の生活実態—『部落台帳』の分析から」
藤目ゆき「女性解放運動からみた婦人水平社」
秋定嘉和「融和運動家として生涯を貫く／山本政夫さんのあゆみと私—没後一周年にあたって」
守安敏司「水平運動資料の宝庫—奈良県御所市柏原」
(渡) 「塩見鮮一郎著『作家と差別語』」
(一) 「藤原宏著『象徴天皇制と部落幻想』」
- 『部落解放研究』91号(1993年4月)
北崎豊二「部落史の窓(7)水平社同人と「新文化村」」
吉村智博「図書紹介／網野善彦著『職人歌合』、山本幸司著『穢と大祓』」
中尾健次「『大阪の部落史』研究ニュース／近世被差別部落の「生活」について—その一」
森田康夫「『大阪の部落史』研究ニュース／近世被差別身分の重層構造について」
- 『部落解放研究』92号(1993年6月)
和真一郎「書評／『鹿児島県の部落史』の刊行をよろこぶ」
渡辺俊雄「部落史の窓(8)ポリス・ゴルバトフの「穢多」」
金 仲 燮「海外研究動向／衡平社の活動とその歴史的意味」

- 柴田もゆる「〔賀川豊彦問題〕とキリスト教」
 『ながさき部落解放研究』27号（1993年10月）
 中尾健次「部落史からなにを学ぶのか」
 阿南重幸「部落史を教えることの意味について一部分から全体像へ」
 姫野順一「書評／松下志朗『入門・民衆と差別の歴史』」
 武宮智水「〔部落解放〕に学ぶ」
 山口 渉「〔解放新聞〕・『部落解放』（月刊誌）に見る長崎の解放運動」
 岩戸静枝「水平運動と私」
 前川雅夫「資料紹介／艦船売込組合の発足広告（『鎮西日報』から）」
 『ながさき部落解放研究』28号（1994年3月）
 阿南重幸「近代社会と部落差別―「贱称廃止令」以後の差別の存続と解放運動の展開」
 山口 渉「〔解放新聞〕・『部落解放』（月刊誌）に見る長崎の解放運動(2)」
 編集 部「部落史関係年表」
 <ヒ>
 『東日本部落解放研究所ニュース』36号（1993年11月）
 川元祥一「制度と呼称」
 『東日本部落解放研究所ニュース』37号（1994年3月）
 松本武夫「部落史の解明がまた一歩前進―『込皆戸の歴史と生活』を読んで」
 『ヒューマンライツ』64号（1993年7月）
 萩 一品「反差別へ連帯の歴史を再検証」
 『ヒューマンライツ』65号（1993年8月）
 乾 武俊「被差別部落の伝統文化を訪ねて(3)「仮面」をかぶった祝福芸(1)」
 渡辺俊雄「占領期と草の根民主主義―カルメン・ジョンソンさんを迎えて」
 『ヒューマンライツ』70号（1994年1月）
 角田房子・姜在彦・溝上瑛「新春特別対談／アジアの中の日本 共に生きる世紀へ」
 仲間恵子「はきもの生活史」
 『ヒューマンライツ』71号（1994年2月）
 中尾健次「部落史研究のいま―近世の被差別部落成立の前提」
 『ひょうご部落解放』51号（1993年5月）
 城間哲雄「一葉の写真／40年の闘士・長田調五郎」
 『ひょうご部落解放』53号（1993年9月）
 城間哲雄「一葉の写真／未来を青年に託す―西口源光」
 黒田展之「書評／大日方純夫『警察の社会史』」
 黒川みどり「書評／秋定嘉和『近代と被差別部落』」
 『ひょうご部落解放』55号（1994年1月）
 望月廣三「文学としての差別表現」
 吉澤恵次「新しいものの中にある「古い」もの」
 田宮 武「差別表現を糾弾する権利」

- 城間哲雄「一葉の写真／部落解放第九回全国大会と兵庫」
 中尾健次「書評／安達五男『部落の歴史と人権教育』」
 のびしょうじ「書評／原田信男『歴史のなかの米と肉』」
 『ひょうご部落解放』56号（1994年3月）
 蓮城寺秋幸「一葉の写真／兵庫県清和会と内海正名」
 山田照美「書評／朝鮮人強制連行真相調査団編『朝鮮人強制連行調査の記録―兵庫編』」
 石田 修「書評／上杉聡『部落を襲った一揆』」
 <フ>
 『部落』562号（1993年4月）
 小牧 薫「部落問題学習」を考える(1)近世身分制度の成立をどうとらえ、どう教えるか」
 谷口勝己「本棚／『部落史』を問う」
 （井出）「ほん／『日本の近世』7巻〈身分と格式〉」
 （東上）「ほん／『近代日本の朝鮮認識』」
 『部落』563号（1993年5月）
 田所顕平「『部落問題学習』」を考える(2)近世後期・悲惨の強調ではなく、生活を軸にした授業を」
 『部落』564号（1993年6月）
 井出幸喜「本／『兆民研究』創刊号」
 川本治雄「『部落問題学習』」を考える(3)解放令をどうとらえ、明治維新の授業を組み立てるか」
 奥山峰夫「1993年度部落問題研究所研究事業計画について」
 『部落』565号（1993年7月）
 北尾 悟「『部落問題学習』」を考える(4)大正期をどうとらえ、どう授業化するか」
 『部落』566号（1993年8月）
 畑中敏之「『部落民』という“立場”について」
 『部落』569号（1993年10月）
 （山本）「本／朝田宇市『龍華の歴史』」
 『部落』573号（1994年1月）
 正木美穂「第31回部落問題研究者全国集会報告」
 森田竜雄「分科会報告／歴史Ⅰ 前近代」
 竹永三男「分科会報告／歴史Ⅱ 近代」
 山路靖子「分科会報告／部落問題と文芸」
 三谷秀治「わが作品を語る／『大塩平八郎』」
 桑原 律「本棚／『「破戒」の読み方』」
 『部落』574号（1994年2月）
 田代純平「動向・研究／『部落問題研究』126輯―成果と課題を読む」
 木下延秀「本棚／『平間の歴史と解放運動』」
 『部落』575号（1994年3月）
 平井清隆「わが作品を語る／『坂本永代記録帳』ほか」

- 『こべる』11号 (1994年2月)
 ともい きみかず「「桶を桶」は、余りにも乱暴」
 師岡佑行「時評(2)「部落」は「集落」か」
 『こべる』12号 (1994年3月)
 黒川みどり「部落のいまを考える(7)近代部落史研究の課題」
 土方 鉄「時評(3)みえない刃先—宗田さんの「山脇東洋」を読む」
- 『五郎兵衛記念館報』9号 (1993年3月)
 ———「顧問に聞く／用水の話(6)」
 柳沢紀元夫「五郎兵衛新田由来の記(2)」
 斎藤洋一「五郎兵衛用水古文書を読む(5)」(～6、10号、10月)
 <サ>
- 『佐賀部落解放研究所紀要—部落史研究』10号 (1993年3月)
 古賀新二「佐賀県における地方改善事業」
 中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から」
- 『佐賀部落解放研究所報』24号 (1993年2月)
 古賀新二「地方改善事業における移転・移住の奨励」
 『佐賀部落解放研究所報』25号 (1993年7月)
 古賀新二「不発に終わった部落分散」
 ———「古文書の中から／唐津藩佐志組岸田家文書『万留帳』『官事細録』」
- 『雑学』8号 (下之庄歴史研究会、1993年10月)
 上野 茂「下庄と風屋」
 金井英樹「福沢諭吉の思想について (後編)」
 辻本正教「穢れと清め、そして草履(3)」
 高桑健二「中上健次私論ノート(3)」
- 『差別とたたかう文化』第2期5号 (1993年3月)
 大門昌博「視点／秀吉の朝鮮侵略」
 <シ>
- 『人権茨木』2号 (茨木市役所人権問題研究会、1994年3月)
 寺田 節「つばきの文化史—つばき その貴賤の流れ」
 足立義之「「継体(天皇)陵」をめぐって—部落問題との関連において」
- 『人権啓発千葉』6号 (1993年8月)
 坂井康人「千葉県の被差別部落—その形成としくみについて」
 松浦利貞「弾左衛門支配と賤民制度」
- 『信州農村開発史研究所報』43号 (1993年1月)

- 佐藤敬子「五郎兵衛新田の商人・諸職人(2の1)瓦屋と瓦職人たち」
 斎藤洋一「「敲役」は「御足軽」」
 『信州農村開発史研究所報』44号 (1993年4月)
 関口良道「夜明けのランナー・高橋修峯」
 『信州農村開発史研究所報』45号 (1993年7月)
 酒井慎一「商業に活路を見いだした甚作さん」
 斎藤洋一「村人さえ無事ならば」
 『信州農村開発史研究所報』46号 (1993年10月)
 佐藤敬子「五郎兵衛新田の商人・諸職人(2の2)」
 寺木伸明「小林茂先生を悼む」
 『信州農村開発史研究所報』47号 (1994年1月)
 五島敏芳「倒死の僧の所持品から」
 <チ>
- 『地域同和』144号 (1993年4月)
 平井清隆「連載／人と部落と(5)」(～8、151号、7月)
 『地域同和』151号 (1993年11月)
 川村治雄「連載／啓発における部落問題と歴史学習(2)」
 <ト>
- 『東京部落解放研究』81号 (1993年1月)
 <特集>「植野村の人々の生活と闘い—上州小頭三郎右衛門文書・解説編」
 『東京部落解放研究』82号 (1993年2月)
 川元祥一「再生の小宇宙—祭礼における〈浄め〉の両義性」
 松浦利貞「関東の被差別部落と箴・研究ノート」
 藤沢靖介「なぜ「箴と被差別部落」なのか—研究の経過・問題意識・課題について」
 石田 貞「武州下吉見領を歩く—『鈴木家文書』に見る番人の実態」
 友常 勉「古文書を読む会の近況／志わ一件—村々をゆるがした駆け落ち事件」
 友常 勉「研究ノート／「皮・肉とケガレ」研究深化のために—公開シンポジウム「皮・肉とケガレ」報告」
 石塚友子「聞き書き／北川君子さん(東京・墨田区)」
 『東京部落解放研究』83号 (1993年3月)
 <資料集> 1910・20年代東京を中心とする皮革産業の状況—『皮革世界』の記事から
- 『同和教育長野』310号 (1993年4月)
 中山英一「被差別部落を詠んだ俳人一茶(8)」(～18、320号、1994年2月)
- 『同和教育論究』14号 (1993年6月)
 左右田昌幸「史料紹介(1)諸国穢寺有之候御代官領主地頭名前留 全」
 <ナ>
- 『ながさき部落解放研究』26号 (1993年3月)
 前川雅夫「聞き書き／民衆の海外出稼ぎ—浦上町の人々」

『解放の道』120号(1994年1月)

高淑和「韓国の白丁解放運動と今日の韓国の差別意識」

『関西大学人権問題研究室紀要』28号(1994年2月)

藤原有和「史料紹介／ある部落寺院の抗議」

<キ>

『季刊・リバティ』4号(1993年12月)

高橋敏「歴史に正当な眼を向けて—歴博近現代展示「文明開化」を終えて」

大阪人権歴史資料館「新しくなるリバティおさか—二年後の再オープンにむけて」

朝治武「幻の「錦旗革命」—関東大震災と水平運動」

仲間恵子「本／『朝鮮人強制連行調査の記録—大阪編』」

宮前千雅子「出羽三山神社神子修行道場を取材して」

文公輝「西光万吉の人と思想」

生瀬克己「コラム人権／身体文化—発想・意識の意味をめぐって」

小島伸豊「資料紹介／田中正造の書簡」

『季刊・リバティ』5号(1994年3月)

朝治武「中西千代子と水平運動—伝説の婦人水平運動家を追う」

宮前千雅子「資料解説／昭和初期・新吉原の娼妓のくらし—『計算帳』『金銭貸借帳』」

今井健嗣「『オール・ロマンス事件』が語るもの」

『郷土の歩み』25号(1994年3月)

酒井一「南王子村の高札場」

松原右樹「聖神社と舞村のこと」

<ケ>

『月刊滋賀の部落』206号(1993年1月)

平井清隆「人物紹介／思い出の人」(～216号、11月)

『月刊滋賀の部落』216号(1993年11月)

平井清隆「書籍紹介／朝田宇市さんの町史『龍華の歴史』を読んで」

『月刊滋賀の部落』217号(1993年12月)

——「荆冠友の会の解散に当りて」

『月刊滋賀の部落』218号(1993年12月)

谷口勝巳「近代の部落史研究を望む」

『月刊部落問題』197号(1993年4月)

塚田孝「近世の法と社会(9)遊女と売女(四)」

前圭一「紹介／塚田孝『身分制社会と市民社会』」

『月刊部落問題』198号(1993年5月)

塚田孝「近世の法と社会(10)「勝扇子」一件(-)」(～12、200号、7月)

『月刊部落問題』201号(1993年8月)

塚田孝「近世の法と社会(13)京都の櫓銭(-)」(～15、205号、12月)

『月刊部落問題』207号(1994年2月)

塚田孝「近世の法と社会(16)大坂における能札」

奥山峯夫「衡平運動の学習会に参加して考えたこと」

徳永高志「書評／布川弘『神戸における都市「下層社会」の形成と構造』」

『月刊部落問題』208号(1994年3月)

川端俊英「書評／亀井順一『藤村の「破戒」と正岡子規』」

『研究紀要』1号(奈良県立同和問題関係史料センター、1994年3月)

奥本武裕「大和国における「部落寺院」研究の課題」

中川みゆき「巡在座頭の活動をめぐる地域社会の一動向」

井岡康時「大和の「非人番」覚書」

吉田栄治郎「斃牛馬無償取得体制の動揺と地域社会の動向—生牛馬有償取得活動の展開をめぐって」

<コ>

『国民融合通信』229号(1993年7月)

沢田義男「ほんだな／畑中敏之『「部落史」を問う』—一人権の自覚と擁護の歴史をどう考えるか」

『こべる』1号(1993年4月)

師岡佑行「『特殊部落一千年史』への原題復帰を求めて」

『こべる』2号(1993年5月)

沖浦和光「〈特殊部落〉という言葉の意味するもの—高橋貞樹『特殊部落一千年史』の改題をめぐって」

『こべる』3号(1993年6月)

師岡佑行「ふたたび『特殊部落一千年史』への原題復帰を求めて」

『こべる』6号(1993年9月)

平田賢一「『被差別部落一千年史』に関する岩波書店文庫編集部の見解」

『こべる』7号(1993年10月)

脇田修「『被差別部落一千年史』復刻によせて」

『こべる』8号(1993年11月)

柴谷篤弘「文字が差別を助長するか」

工藤力男「原点に帰る」

『こべる』9号(1993年12月)

八木晃介「『危険な存在』の再評価—師岡・沖浦論争に寄せて」

布川弘「『被差別部落一千年史』の復刻について」

本田豊「部落問題“翻訳”事情」

『こべる』10号(1994年1月)

室伏修司「『桶を桶といふ』こと」

梅沢利彦「それもそれ、これもこれ」

中島久恵「マルク・シャガールと祖父」

<オ>

『おおいた部落解放史』13号(1993年3月)

- 安田晃子「佐野学と解放運動—新人会創立から「転向」声明までを中心に」
 ———「地域の部落史・県北／中津藩「奉幣使御通行」についての差別」
 ———「地域の部落史・はやみ・くにさき／あやまりの多い解放論—帆足万里の『東
 潜夫論』の紹介」
 ———「地域の部落史・大分／被差別民衆と牛泥棒」
 ———「地域の部落史・県南／馬具細工師新四郎の移転」
 ———「地域の部落史・豊肥／洗染め着衣の強制」
 ———「地域の部落史・玖珠・日田／水争いの解決—神前における盟約」

『おおいた部落史研究会だより』24号(1993年3月)

- 「ここにもあった篤い信仰—復権同盟、日田郡水平社を経て」
 ———「シンポジウム「皮・肉とケガレ(パートII)」開かれる」

『岡山部落解放研究所紀要』9号(1993年11月)

- 好並孝司「明治五年中津井騒擾論放」
 パプラオ・パキデ(山口信夫訳)「インドにおける奴隷民の解放運動」
 山本すみ子「朝鮮人虐殺と歴史読本」

『岡山部落解放研究所報』120号(1993年2月)

- 若林義夫「1923年岡山県水平社の創立(1)」(～3、122号、4月)

『岡山部落解放研究所報』121号(1993年3月)

- 荒木 弘「新史料紹介／元津山藩解放令に関する史料」

『岡山部落解放研究所報』123号(1993年5月)

- 菩提達磨「インドのグリット」

『岡山部落解放研究所報』125号(1993年7月)

- 若林義夫「日本人と国際問題学会報告レジュメ」

『岡山部落解放研究所報』126号(1993年8月)

- 若林義夫「中国天津社会科学院「日本人と国際化問題シンポジウム」に参加して」

<カ>

『解放教育』303号(1993年6月)

- 湯浅孝子「資料にみる水平社運動と女性」

『解放教育』307号(1993年10月)

- 寺木伸明「読書のツボ／藤原宏『象徴天皇制と部落幻想—終焉への途上にて』」

『解放教育』309号(1993年12月)

- 中島 繁「マスコミの中で／騎馬民族説は差別の思想？」

『解放教育』311号(1994年2月)

- 寺木伸明「読書のツボ／畑中敏之『「部落史」を問う』」

『解放教育』312号(1994年3月)

寺木伸明「読書のツボ／部落解放研究所編『新編 部落の歴史』」

『解放研究』6号(1993年9月)

- 石田 雄「戦後日本の社会科学と人権の視角」
 宮田 登「民俗研究と部落問題—シラ山、ケガレなどを中心に」
 松島一心「被差別部落と箴一桐生・伊勢崎を中心に」
 大熊哲雄「幕末期関東における竹箴の製造・販売をめぐる動向について—弾左衛門役所
 の手札制度を中心に」

『解放研究』7号<明日を拓く4号>(1994年3月)

- 阿部謹也「『世間』と日本人の心的構造—新しい差別論のために」
 川元祥一「差別を克服する文化—文化の弁証法」
 金子マーティン「繊維産業と被差別部落の女性労働—東日本を中心に(上)」
 佐藤泰治「越後の身分制度と渡守(下)」

『解放研究しが』3号(1993年5月)

- 角 知行「『聞き取り』の意味をめぐる」
 野口道彦「バングラディッシュの貧困、マイノリティそしてカースト—イフティカル・
 ウディン・チョドリ博士の講演をめぐる」

『解放新聞』1615号(1993年4月)

- 秋定嘉和・大賀正行「水平社の運動から学ぶ(3)」

『解放新聞』1619号(1993年5月)

- 渡辺俊雄「いまをよみとく(3)」(～9、1651号、12月)

『解放新聞』1629号(1993年7月)

- 「衡平社精神を求めて(1)」(～2、1630号)

『解放新聞』1647号(1993年11月)

- 朝治 武「図書紹介／現代の「穢れ」を真正面に／木津讓『女人禁制』」

『解放新聞』1655号(1994年2月)

- 川元祥一「図書紹介／原田信男『歴史のなかの米と肉』」

『解放新聞』1660号(1994年3月)

- 「水平社歴史館(仮称)所蔵史料から(1)」

『解放新聞 大阪版』1073号(1994年3月)

- 「『大阪の部落史』編集委員会から(1)ムラの成立に多くのナゾが」

『解放の道』111号(1993年4月)

- 「読書／『被差別部落一千年史』」

『解放の道』117号(1993年10月)

- 峯岸賢太郎「投稿／なぜ政治的起源説はまちがっているのか(1)」(～5、121号、1994
 年2月)

- 『兵庫県の歴史』29号(1993年3月)
 横田健一「滝川儀作翁小伝—特に大同燐寸株式会社社長辞任事件をめぐる」
 檀上重光「石造物の新史料(3)遊女塚の銘文について」
 <フ>
- 『福岡県女性史・女性学ノート』1号(1993年11月)
 横田武子「長崎における幕末前後の遊女達—遊女から娼妓へ」
- 『福岡県地域史研究』12号(1993年11月)
 松下志朗「筑前における被差別民衆の諸相」
 <ミ>
- 『民俗文化』352号(滋賀民俗学会、1993年1月)
 菅沼見次郎「人権・文化を理解し人類が共存する心」
 <モ>
- 『桃山学院大学人間科学』5号(1993年9月)
 寺木伸明「大阪地域における近世被差別部落の人口動態とその背景についての一考察—河内国丹北郡更池村内の近世部落を中心として」
 <ヨ>
- 『四日市市史研究』6号(1993年3月)
 黒川みどり「四日市市域における被差別部落の近代—今後の研究推進のための中間報告」
 <レ>
- 『歴史学研究』646号(1993年6月)
 青木孝寿「書評／脇田修『河原巻物の世界』」
- 『歴史と神戸』177号(1993年4月)
 加茂幸男「史料紹介／「姫路藩の革細工職人掌握に関して」再考」
- 『歴史と神戸』180号(1993年10月)
 塚田 孝「書評／落合重信『近世部落の中世起原』」
- 『歴史と神戸』182号(1994年2月)
 赤松啓介「性民俗の報告は猥褻か」
- 『歴史評論』520号(1993年8月)
 松岡朝子「聞き取り／柳瀬正夢—出会い・結婚、そして戦時下の生活・仕事」
 甲斐繁人「柳瀬正夢研究の現段階と今日的意義」
 梅田欽治「柳瀬正夢と『無産者新聞』」
 山辺昌彦「柳瀬正夢の展示と今後の課題—立命館大学国際平和ミュージアムにおける」
 ———「柳瀬正夢研究会のあゆみ」
 小沢節子「一五年戦争期の美術をめぐる」
- 『歴史評論』522号(1993年10月)
 塚田 孝「身分制社会の解体—大坂渡辺村—西浜の事例から」
 小林信也「書評／塚田孝著『身分制社会と市民社会—近世日本の社会と法』」

- 『歴史評論』523号(1993年11月)
 野村育世「書評／脇田晴子著『日本中世女性史の研究』を読む」
 中村和之「書評／上村英明著『北の海の交易者たち—アイヌ民族の社会経済史』」
- 『歴史評論』527号(1994年3月)
 塚田 孝「身分制社会の解体—大坂・渡辺村=西浜の事例から」
 山崎 圭「第27回大会報告・パネルディスカッションを聞いて／塚田孝報告を中心に」
 住友陽文「第27回大会報告・パネルディスカッションを聞いて／塚田・東條由紀彦報告を中心に」
 <ワ>
- 『早稲田政治公法研究』43号(1993年8月)
 李 圭 倍「日本の差別史に関する考察—差別意識形成の二つの契機を中心として(3)」

(3) 部落問題関係逐次刊行物

- <ア>
- 『愛知部落史研究会会報』11号(1992年5月)
 ———「生駒秋次郎さん、みなゑさんに聞く(1)イタチ捕りのこと」
 藤井寿一「文化フォーラム「『解放令』と近代部落問題の成立」に参加して」
 松浦国弘「『黒ん坊』という名の差別語について(4)」
 ———「近世尾張人の見たまま聞いたまま(8)玄海と火事」
 ———「[資料] 近・現代／扶桑新聞連載「貧天地・下奥田町」(3)」
- 『愛知部落史研究会会報』12号(1993年4月)
 松浦国弘「『黒ん坊』という名の差別語について(5)名古屋市民の人権意識は？」
 鈴木 仁「『被差別部落一千年史』復刻に思う」
 ———「近世尾張人の見たまま聞いたまま(9)玄海のひとびと」
 ———「[資料] 近・現代／扶桑新聞連載「貧天地・下奥田町」(4)」
- 『明日を拓く』1号(東京部落解放研究改題、1993年9月)
 石塚友子・川元祥一・編集部「対談／現代の歴史空間—江戸東京博物館と部落問題を語る」
 編集部「『江戸図屏風』『江戸名所図屏風』に見る江戸の被差別民」
 山路興造「芸能興行と被差別民」
 友常 勉「江戸非人の諸相」
 川元祥一「人間としての記号」
 編集部「史料の紹介／高井郡中野村博奕一件(長野県中野村吉谷家文書)」
- 『明日を拓く』2・3号(1994年1月)
 木下川治革命史研究会「木下川地区のあゆみ」
 川田鶴太郎「聞き取り／戦前の木下川と皮革業」
 松居成生ほか「座談会／部落解放同盟墨田支部の結成とその後の歩み」
 ———「資料／皮革集団強制移転反対・陳情書」ほか

- 森 裕二「自治体平和施策の現状と課題(2)大阪府下自治体の平和施策」
〈夕〉
『橘史学』5号(1990年10月)
金城武子「白拍子について—遊女・傀儡子との関係を中心に」
〈チ〉
『千曲』76号(1993年2月)
斎藤洋一「五郎兵衛用水開墾技術についての覚書」
『千曲』77号(1993年5月)
若林 清「中村部落(小県郡青木村)の正月」
- 『千葉工業大学研究報告』〈人文編〉31号
伊藤 晃「転向問題の一考察—日本共産党労働者派と平田勲」
- 『地方史研究』243号(1993年5月)
内田 満「埼玉県における町村合併反対運動—大里郡石原村を素材として」
『地方史研究』245号(1993年10月)
北大院近代史ゼミ「史料紹介および共同研究／森竹竹市宛喜田貞吉書簡(1929～34)」
- 『中世内乱史研究』14号(1993年5月)
——「安良城盛昭報告「被差別部落研究の歴史的背景とその後の展開」の討論風景」
〈ツ〉
『飛騨』(つぶて)1号(飛騨編集委員会、1993年12月)
川元祥一「いま最前線・部落解放／近代的労働者の前身」
〈ト〉
『東海近代史研究』15号(1993年12月)
渡邊則夫「愛知県における天然痘の流行の歴史—その根絶への展開を中心に」
藤井寿一「『牟婁新報』に掲載された部落改善運動の記事とその背景—静岡県浜名郡吉野村風俗改善同盟会を素材として」
- 『東海近代史研究会々報』45号(1993年3月)
藤井寿一「新刊紹介／『人権のあゆみ・桑名 史料編』」
- 『土佐史談』192号(1993年3月)
橋詰英昭「兆民に関する—レポート—兆民通りの碑除幕式」
〈ニ〉
『日本学術会議月報』34巻12号(1993年12月)
加藤春恵子「随筆／差別アレルギー」
- 『日本史研究』370号(1993年6月)
有元正雄「近世真宗門徒における殺生忌諱」

- 『日本史研究』372号(1993年8月)
小田康徳「時評／民事判決原本の永久保存の廃止と民事事件記録等の特別保存について」
『日本史研究』373号(1993年9月)
布引敏雄「毛利関係戦国軍記の成立事情」
鹿野政直「書評／安丸良夫著『近代天皇像の形成』」
『日本史研究』375号(1993年11月)
西村芳将「部会ニュース／近世前期鳥取藩領の非人と鉢屋」
『日本史研究』376号(1993年12月)
田端泰子「書評／三浦圭一著『日本中世賤民史の研究』」
岩崎奈緒子「部会ニュース／近世期アイヌ社会の構造と変容」
『日本史研究』377号(1994年1月)
日本史研究会「総会決議／司法資料の保存・利用についての決議」
横内裕人「部会報告／殺生禁断令の中世的展開—「武士の殺生」と幕府をめぐって」
『日本史研究』378号(1994年2月)
黒川みどり「書評／部落問題研究所編『近代日本の社会史的分析』」
- 『日本女子大学紀要』〈人間社会学部〉3号(1993年3月)
金子マーティン「偏見の原点としての無知—現代社会学科学生のアンケートから」
- 『日本歴史』542号(1993年7月)
豊田寛三「文化年間豊後杵築藩被差別民衆逃散とその発生年代について」
『日本歴史』544号(1993年9月)
岩崎武夫「書評と紹介／酒向伸行『山椒太夫伝説の研究』」
落合弘樹「書評と紹介／稲葉光彦『窮民救助制度の研究』」
『日本歴史』545号(1993年10月)
神野清一「神賤試論」
本郷恵子「中世の発心と往生」
池内 敬「天明四年長州悪党漂流一件」
『日本歴史』547号(1993年12月)
寺崎 修「書評と紹介／米原謙『植木枝盛』」
高橋昌郎「書評と紹介／藤井常文『留岡幸助の生涯』」
『日本歴史』549号(1994年2月)
湯浅幸孫「養老律令の賤民」
大館右喜ほか「地方史研究の現状(1)埼玉県」
『日本歴史』550号(1994年3月)
今井林太郎「歴史手帖／姫路革職人の史料」
〈ヒ〉
『ヒストリア』142号(1994年3月)
森田竜雄「書評／三浦圭一著『日本中世賤民史の研究』」

(ゆまに書房、1993年12月)

<フ>

脇田 修「月報7/近世社会のイメージから」(朝尾直弘ほか編『岩波講座/日本通史』<第12巻:近世2> 岩波書店、1994年3月)

渡邊忠司『町人の都 大坂物語』<中公新書1150> (1993年9月)

渡部徹編『大阪水平社運動史』(解放出版社、1993年7月)<執筆者=白石正明・山室昌子・桐村彰郎・八箇亮仁>

渡辺俊雄「占領期の部落問題に取り組んで」(占領史研究会編『占領史研究会ニュース(復刻版)』 柏書房、1993年9月)

(2) 逐次刊行物

<イ>

『池坊短期大学紀要』23号(1993年3月)

秋定嘉和「資料紹介/原胤昭「全国慈善事業視察報告書」」(~2、24号、94年3月)

<オ>

『大阪の歴史』38号(1993年6月)

牧 英正「大阪市の米騒動—大阪市公文書館の資料から(2完)」

横山篤夫「史料紹介/財団法人大阪啓明会の事業報告書—戦時下協和事業の実態解明の一史料」

『大阪の歴史』39号(1993年9月)

大谷 渡「北村兼子の生涯—性差別とのたたかい」

『おだわら』9号(1993年1月)

西海賢二「近世遍歴民の世界(1)小田原藩領下の民間宗教者をめぐって」

星野和子「関東大震災以降の小田原町の社会事業について—資料紹介」

『温古』復刊15号(1993年3月)

足助威男「一遍上人について」

<キ>

『岐阜史学』86号(岐阜史学会、1993年7月)

中島久恵「近世名古屋の非人について」

<ク>

『くちくまの』94号(1993年8月)

芝 英一「千束谷は朝来三ヶ村(金屋・上・大内谷)入会のことについて—元禄十年(1697)

「辺領領機多村覚」(牢番頭・釘貫家文書)の誤読の訂正にあたって」

小山富造「部落解放運動と日高平野の大争議」

『くちくまの』95号(紀南文化財研究会、1993年12月)

藤井寿一「末広地区改善の先駆者—中岡兵四郎」

『群馬歴史民俗』366号(1993年4月)

都丸九十九「ムラ境の民俗とムラ境に多い地名」

<ケ>

『月刊百科』366号(1993年4月)

原田信男「「天下国家」と「身辺雑事」—食生活史研究の視点から」

<サ>

『サイ』8号(1993年9月)

姜 徳 相「近代日本の朝鮮認識はいかにつくられたか?」

井上正一「天理教は侵略戦争に協力したことに加害意識をもっているだろうか」

文 公 輝「衡平社と水平社—朝鮮と日本の反差別運動」

金 英 達「数字でみる在日朝鮮人の歴史(1)」

『堺研究』21号(1990年3月)

北崎豊二「堺における自由民権運動」

『佐渡史学』14号(1992年6月)

本間雅彦「中世佐渡の牛皮細工」

<シ>

『史学研究』199号(1993年3月)

前田正明「近世後期、紀州における皮革生産・流通の特質—特に諸獣皮に注目して」

『史叢』50号(1993年3月)

坂本守央「井上甚太郎と中江兆民」

『史友』5号(合川地方史研究会、1993年2月)

佐藤昭次郎「部落の「昔」をたずねて(2)」

『自由意志』57号(アナキスト連盟、1994年2月)

福田典子「水平社神話を打ちくたごう」

<セ>

『全国地名保存連盟会報』22号(1993年5月)

西村 亨「人権としての地名」

『戦争と平和'93』2号(大阪国際平和研究所)

赤塚康雄「太平洋戦争末期における大阪市学童の集団疎開—準備過程を中心に」

小山仁示「商業学校の工業学校への転換—太平洋戦争末期の大阪の中等教育」

佐賀 朝「戦時下都市における食料難・配給・闇—大阪市の事例を中心に」

広川禎秀「関一と息子秀雄の治安維持法違反事件」

辛 基 秀「1945. 8. 15. 在日朝鮮人」

横山篤夫「戦前の在阪朝鮮人の住宅問題と財団法人大阪啓明会」

- 原田信男『歴史のなかの米と肉—食物と天皇・差別』〈平凡社選書147〉(1993年4月)
〈七〉
- 東日本部落解放研究所編『東日本の被差別部落—現状と課題』(明石書店、1993年6月)
[収録論文]
- ・藤沢靖介「解題・東日本の被差別部落の概況と特徴」
 - ・古賀芳夫「部落を隠す桐生市行政—群馬県・桐生市の部落の現状・差別・歴史」
 - ・佐藤泰治「闘いの火は消えない—新潟県の被差別部落」
 - ・高野昭之助「信州の戦後の闘いの中で—長野県浅科村の部落の歴史をとりもどす闘い」
 - ・松島一心「屈辱と忍従の歴史をはねかえす—世良田村焼打事件のその後」
 - ・友常 勉「近代」のなかの部落—東京の被差別部落、強制移転と形成史」
 - ・和田献一「梁山泊の頃—栃木県連結成まで」
 - ・佐々木秀郷「前途は遠遠で歩みは遅々—東京・足立支部の運動」
 - ・藤田源市「石川一雄をとりもどす日まで—家族たちと初期の闘い」
 - ・鎌田行平「歴史を貫く闘いを—千葉県・関宿小学校移転問題にみる差別の風土」
 - ・町田美津子「伝えたい、ただひとつのこと—埼玉・解放保育運動と家庭内同和教育運動」
 - ・岩田明夫「木下川の子どもたち—墨田を愛し、誇りに思う」
 - ・鈴木康彦「共に支え合う仲間づくりを求めて—高校部落研活動から得たもの」
 - ・友常 勉「文献案内」
- 東日本部落解放研究所編『込皆戸の歴史と生活—粕川村込皆戸地区・歴史調査報告書』(1994年1月)
- 菱木政晴『浄土真宗の戦争責任』(岩波ブックレット303、1993年7月)
- 平井清隆『部落の生業』(滋賀県同和問題研究所、1993年7月)
- 広島県立歴史民俗資料館・江の川水系漁撈文化研究所編『川に生きる—江の川水系漁撈文化』(広島県立歴史民俗資料館、1993年10月)
- 広島地区高等学校同和教育推進協議会・部落研解放研顧問代表者会議編『安芸国における部落史—試論』(1993年6月)
- 〈フ〉
- 福岡光超先生還暦記念会編『福岡光超先生還暦記念—真宗史論叢』(永田文昌堂、1993年12月)
[収録論文]
- ・日野賢隆「部落改善事業とその周辺—熊本県水平社成立前後を中心として」
 - ・高島幸次「西本願寺—如会の設立事情」
 - ・木場明志「満州布教の侵略的諸相—真宗大谷派ハルビン別院機関紙『願海』の記事から」
 - ・堀田節子「親鸞消息理解の再検討(1)親鸞から性信へ—そして高木顕明・木下尚江へ」
 - ・福岡寛隆「近代の仏教と「慈善」ほか」
- 藤本清二郎監修・貝塚市教育委員会編『和泉国南郡福田村福原家文書目録』(1993年3月)
[収録論文]
- ・藤本清二郎・前田正明・近藤孝敏・貝塚市教育委員会「福原家文書整理と目録作成について」
 - ・藤本清二郎「福原家文書解説」

- 藤原 宏『象徴天皇制と部落幻想—終焉への途上にて』(三一書房、1993年6月)
- 布施辰治顕彰会編『追憶／弁護士布施辰治—顕彰碑建立記念』(1993年11月)
- 部落解放研究所編『新編 部落の歴史』(解放出版社、1993年12月)〈執筆者=井上満郎、青盛透、寺木伸明、布引敏雄、小林文広、三原容子、渡辺俊雄〉
- 部落解放研究所編『被差別部落の民俗伝承 大阪—古老からの聞き取り』下巻／河内・和泉(解放出版社、1994年3月)〈執筆者=西岡陽子・乾武俊〉
- 部落解放研究所編『部落問題文献目録』3集(解放出版社、1994年3月)
- 部落解放同盟大阪府連合会沢良宜支部編『沢良宜支部結成30周年記念誌』(1993年9月)
- 部落解放同盟松原支部編『被差別部落 更池の歴史』(解放出版社、1993年4月)
〈ヘ〉
- 船松歴史資料館編『名人 阪田三吉特別展』(1993年10月)
〈ホ〉
- 松尾尊允『国際国家への出発』〈集英社版／日本の歴史(2)〉(集英社、1993年2月)
〈マ〉
- 馬原鉄男氏追悼文集編集委員会編『回想の馬原鉄男』(文理閣、1993年7月)
〈ミ〉
- 水野直樹『在日朝鮮人の歴史(2)解放前大阪を中心とする在日朝鮮人運動』(飯沼二郎ほか編『足もとの国際化—在日朝鮮人の歴史と現状』海風社、1993年6月)
〈モ〉
- 門司部落史民俗調査研究会編『わがふるさとの源流をもとめて』(部落解放同盟門司地区協議会、1993年12月)
- 森 謙二『墓と葬送の社会史』〈講談社現代新書1152〉(1993年6月)
- 森 杉夫『近世徴租法と農民生活』(柏書房、1993年4月)
- 森田康夫『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』(校倉書房、1993年8月)
〈ヤ〉
- 山県東中部部落解放史研究協議会編『安芸の国の部落史』(1994年3月)
- 山中永之助編『堺県法令集』1 〈羽曳野資料叢書5〉(1992年3月)
- 山中永之助編『堺県法令集』2 〈羽曳野資料叢書6〉(1993年3月)
- 山本真弓『ネパールの暮らしと政治—「風刺笑劇」の世界から』(中公新書、1993年11月)
〈ユ〉
- 萬木康博「柳瀬正夢〈五月の朝と朝飯前の私〉」(青木茂・酒井忠康監修『日本の近代美術』7 〈前衛芸術の実験〉大月書店、1993年5月)
〈ヨ〉
- 四日市市部落史編さん室編『部落史編さん室だより』第1号(1993年5月)
- 吉田栄治郎「同和问题編」(安堵町編『安堵町史 本編』1993年11月)
- 吉野孝雄監修(解題)『雑誌集成・宮武外骨此中にあり』第1～3巻〈スコブル1号～27号〉(ゆまに書房、1993年6月)
- 吉野孝雄監修(解題)『雑誌集成・宮武外骨此中にあり』第4～5巻〈頓智協会雑誌1号～28号〉(ゆまに書房、1993年9月)
- 吉野孝雄監修(解題)『雑誌集成・宮武外骨此中にあり』第6～8巻〈滑稽新聞1号～86号〉

- 年1月)
- 佐野通夫『近代日本の教育と朝鮮』(社会評論社、1993年10月)
- <シ>
- 塩見鮮一郎「解説／起源論の水準—菊池山哉『特殊部落の研究』をめぐって」(菊池山哉『特殊部落の研究』批評社、1993年10月)
- 塩見鮮一郎『作家と差別語—表現の自由と用語規制のジレンマ』(明石書店、1993年12月)
- 『写真でつづる新宮の百年』編集委員会編『写真でつづる新宮の百年』(新宮町、1993年3月)
- <ス>
- 崇仁地区寺院調査団著・崇仁地区の文化遺産を守る会編『崇仁地区寺院調査中間報告書I—西方寺』(1994年3月)
- 鈴木正幸『皇室制度—明治から戦後まで』(岩波新書、1993年7月)
- 鈴木正幸編『近代日本の軌跡(7)近代の天皇』(吉川弘文館、1993年10月)
- <セ>
- 全九州水平社創立70周年記念・記念誌制作委員会編『全九州水平社創立70周年 記念写真集』(1993年4月)
- 全国同和教育研究協議会事務局編『部落問題学習を深めるために』<全同教同和教育資料12>(1993年11月)
- [収録論文]
- ・田中善男「石川県の被差別部落の歴史」
 - ・中山英一「差別戒名から仏祖・宗祖への回帰—人間解放の実践こそ」
 - ・松下志朗「鹿児島藩における島差別と部落差別」
 - ・中尾健次「部落史学習の経過と現在の課題」
 - ・磯本恒信「長崎県の被差別部落史と現況」
 - ・上杉 聡「部落問題学習を深めるために—「解放令」研究から見えてきたもの」
 - ・寺木伸明「部落史をどう教えるか」
 - ・安達五男「同和教育に求められるもの—差別とは何か、その具体的分析」
 - ・多田恵美子「私と部落の出会い—被差別部落の伝承歌をききとって」
- <タ>
- 高取正男『神道の成立』<平凡社ライブラリー5>(1993年6月)
- 多田恵美子著・大阪人権歴史資料館編『被差別部落の女と唄』<大阪人権歴史資料館調査報告書第1集>本文編・資料編(大阪人権歴史資料館、1993年3月)
- 田中克彦『国家語をこえて』(ちくま学芸文庫、1993年4月)
- <チ>
- 朝鮮人強制連行真相調査団編著『朝鮮人強制連行調査の記録—大阪編』(柏書房、1993年5月)
- 鄭承博(チョンスンバク)『エッセイ・私の出会った人々』<鄭承博著作集第4巻>(新幹社、1993年3月)
- <ツ>
- 塚田 孝「身分制の構造」(朝尾直弘ほか編『岩波講座／日本通史』<第12巻：近世2>岩

- 波書店、1994年3月)
- 塚田孝・寺木伸明・畑中敏之・山本尚友・脇田修『賤民身分論—中世から近世へ』(明石書店、1994年3月)
- 塚本 学『生類をめぐる政治—元禄のフォークロア』(平凡社ライブラリー、1993年8月)
- <テ>
- 寺方部落史研究会編『寺方部落史研究』第2集<寺方村の人びとのあゆみ>(1993年6月)
- <ト>
- 同和会山口県連合会『同和運動のあゆみ』(柳井政雄、1992年11月)
- 豊中水平社創立70周年記念事業実行委員会編『にんげんはすばらしい 寺本知のとわずかたり』(1994年1月)
- <ナ>
- 永原慶二編『前近代の天皇制』第3巻<天皇と社会諸集団>(青木書店、1993年6月)
- [収録論文]
- ・義江彰夫「はしがき」
 - ・吉村武彦「律令制的身分集団の成立」
 - ・保立道久「日本中世の諸身分と王権」
 - ・塚田 孝「近世賤民制と天皇—朝廷権威」
 - ・義江彰夫「天皇と公家身分集団」
 - ・水林 彪「武家官位制」
 - ・永村 真「寺院と天皇」
 - ・間瀬久美子「神社と天皇」
- 中村正則編『近代日本の軌跡(6)占領と戦後改革』(吉川弘文館、1994年2月)
- 奈良県教育委員会編『奈良県立同和問題関係史料センター開館記念特別展／歴史を探る—復権と創造のために』(1993年11月)
- 成田龍一編『近代日本の軌跡(9)都市と民衆』(吉川弘文館、1993年11月)
- <ニ>
- 丹生谷哲一「非人・河原者・散所」(朝尾直弘ほか編『岩波講座／日本通史』<第8巻：中世2>岩波書店、1994年3月)
- 日本カトリック部落問題委員会編『部落差別とカトリック』(女子パウロ会、1993年4月)
- [収録論文]
- ・上杉 聡「キリシタンと部落問題」
 - ・太田 勝「山上卓樹伝」
- <ヌ>
- 布川 弘『神戸における都市「下層社会」の形成と構造』(兵庫部落問題研究所、1993年9月)
- <ハ>
- 萩沢明雄『喜田貞吉』(東洋紙業書籍出版部、1993年3月)
- 蛇草の歴史をつくる会編『くっちょしかってん—蛇草の歴史』(1993年3月)
- 畑中敏之『「部落史」を問う』(兵庫部落問題研究所、1993年4月)
- 原田伴彦編『編年差別史資料集成』20巻<近世部落編15—補遺1>(三一書房、1993年4月)

資料

部落史関係文献目録

(1993年4月～1994年3月)

(注) 以下の目録は本号特集の一環として、概ね1993年4月から1994年3月に発表された著書・論文を対象に、(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題関係逐次刊行物に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は雑誌名の50音順に配列した。なお、1988年以降に発表されたものを、若干補った。

(1) 単行本・冊子

<ア>

飛鳥の歴史をつくる会編『飛鳥の歴史—西中島水平社創立七十年記念誌』(1993年8月)
尼崎部落解放史編纂委員会編『尼崎部落解放史—史料編II』(尼崎同和問題啓発促進協会、1993年7月)

網野善彦『異形の王権』〈平凡社ライブラリー10〉(1993年6月)

網野善彦「総論／日本列島とその周辺—「日本論」の現在」(朝尾直弘ほか編『岩波講座／日本通史』〈第1巻：日本列島と人類社会〉岩波書店、1993年9月)

有元正雄先生退官記念論文集刊行会編『近世近代の社会と民衆』(清文堂、1993年3月)

[収録論文]

- ・藤本清二郎「近世中期の都市犯罪と社会構造—城下町和歌山の場合」
- ・前田正明「近世における諸獣類取捌きと皮革生産—紀州を事例として」
- ・藤井寿一「ファシズム成熟期における被差別部落住民の祭礼闘争」

安達五男『部落の歴史と人権教育』(明石書店、1993年7月)

<イ>

泉大津・忠岡における朝鮮人のことを考える会編『中間報告—泉大津・忠岡と朝鮮人』(1993年12月)

伊藤記念財団『日本食肉文化史』(1991年9月)

稲垣有一・寺木伸明・中尾健次『部落史をどう教えるか』第2版(解放出版社、1993年6月)

今西 一『近代日本の差別と村落』(雄山閣、1993年4月)

井上 薫編『大阪の歴史と文化』(和泉書院、1994年3月)

[収録論文]

- ・森 明彦「陶邑・ミツキ・大嘗祭」
- ・寺木伸明「大阪地域における近世被差別部落の人口変動とその背景—河内国更池村内の部落を中心に」
- ・布引敏雄「明治中期泉州における「解放」文芸の先駆—高見倫作・小説『出世魚』」

「岩越家文書」編集委員会編『近江国蒲生郡岩越家文書』全3巻(滋賀県部落問題研究所、1994年3月)

<ウ>

上杉 聰『部落を襲った一揆』(解放出版社、1993年10月)

<オ>

大阪市同和事業促進住吉地区協議会編『住吉地区協40年の歩み』(1993年9月)

大阪人権歴史資料館編『被差別部落の成り立ちに学ぶ』(1993年4月)

大阪人権歴史資料館編『生む性・遊ぶ性・女という性—江戸を生きぬいた女たち』(1993年5月)

大阪人権歴史資料館編『衡平社と水平社—朝鮮と日本の反差別運動』(1993年6月)

大阪人権歴史資料館編『日本の公害—水俣病問題、足尾鉾毒問題』(1993年7月)

大阪人権歴史資料館編『はきもの生活史』(1993年9月)

大阪人権歴史資料館編『同和行政の歴史に学ぶ—オール・ロマンス事件を中心に』(1994年3月)

「大阪の部落史」編纂委員会編『大阪の部落史を考える—「大阪の部落史」研究ニュース合本版』(1994年3月)

尾川法昌「水平運動はどのように展開されたか」(佐々木隆爾・山田朗編『新視点日本の歴史』第6巻〈近代編〉新人物往来社、1993年8月)

<カ>

学校同和教育実践講座刊行委員会編『リュミエール 学校同和教育実践講座』全17巻・ビデオ4巻(解放出版社)

Kaneko, Martin "Textilarbeiterinnen in Japan" (1993, Bohlau)

亀田順一『藤村の『破戒』と正岡子規』〈ヒューマンブックス21〉(兵庫部落問題研究所、1993年11月)

<キ>

菊池山哉・塩見鮮一郎解説『特殊部落の研究』(批評社、1993年10月)

北崎豊二『近代大阪の社会史的研究』(法律文化社、1994年4月)

木津 讓『女人禁制—現代穢れ・消め考』(解放出版社、1993年11月)

キム チョンミ(金静美)『水平運動史研究—民族差別批判』(現代企画社、1994年1月)

<ク>

久保井規夫『近代の差別と日本民衆の歴史』(明石書店、1993年8月)

熊本県水平社70年記念誌編集委員会編『熊本県水平社70年記念』(部落解放同盟熊本県連合会、1994年2月)

<サ>

斎藤洋一編『御代田町古文書調査報告書』第4集(御代田町教育委員会、1993年3月)

西光萬吉『戯曲 澤村辰之助』(解放出版社、1994年3月)

西光万吉資料保存委員会・大阪人権歴史資料館・「(仮称)水平社歴史館」建設推進委員会編『西光万吉—「熱と光・和栄」を求めた生涯』(大阪人権歴史資料館、1994年2月)

坂野潤治他編『戦後改革と現代社会の形成』〈シリーズ日本近現代史4〉(岩波書店、1994